

日の入りが早まります。早めのライト・オンを。
シルバーウィークは安全運転で楽しい休暇をお過ごしください。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。

(表)



マットのいたずらで冷や汗

この映像の訴求ポイントは…

- ◎こんなときはシフトをNに！
- ◎マットのズレや空き缶の有無など、出発前に足もとをチェック。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



信号は赤ですが！！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎たとえ信号無視でも横断歩道上で事故が起きれば車に責任。
- ◎横断歩道の通過は徐行と再確認を。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

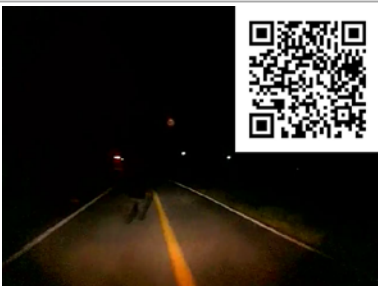


手を見ていたがヒヤリ

この映像の訴求ポイントは…

- ◎誘導員も人の子。間違えることもあります。
- ◎誘導指示に目視確認と少々忙しい。急がないこともポイント。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



あわや死亡事故

この映像の訴求ポイントは…

- ◎夜道は制限速度を守り、上向きライトで走行しましょう。
- ◎歩行者は反射材をつけましょう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



自分だったかも

この映像の訴求ポイントは…

- ◎シートベルトやチャイルドシートを忘れずに！

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】夕暮れ時は魔の時間！早めのライト・オンを

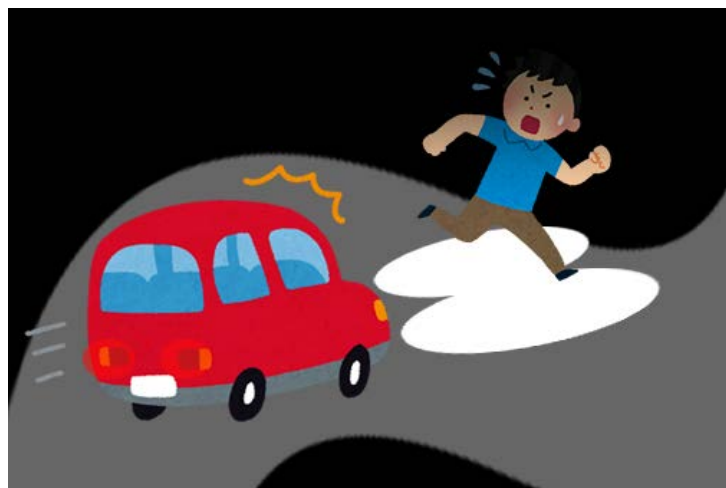
夏の暑さが和らぎ、心地よい涼しさに秋の訪れを感じさせる9月は、日没が急速に早まってく季節でもあります。例えば9月中旬の東京での日の入りは、8月中旬に比べるとおよそ1時間早まります。日没の少し前、きれいな夕焼けが見られる「薄暮」の時間帯は、自動車にとって魔の時間でもあります。

事故全体の件数は日中の方が多のですが、薄暮の事故は、死亡事故につながりやすいのが特徴です。夕暮れ時で明暗の区別がつきにくく、歩行者や自転車の発見が遅れてしまうことで、重大な事故になってしまうのです。

その対策のひとつが、早めのヘッドライト点灯です。ヘッドライトを点灯することで、ドライバーの視界が良くなり、飛び出しなどの急な事態にも対応できる余裕が生まれますし、他の車や歩行者・自転車などからも気づいてもらいやすくなります。

人間の目は、暗いところから明るいところへ目が慣れる（明順応）よりも、明るいところから暗いところへ目が慣れる（暗順応）方により時間がかかると言われています。薄暮時のように、急に暗くなっていく時間帯は、たとえ見えているように感じても、早めにヘッドライトを点灯するようにしましょう。

また、夜間のヘッドライトは、特に郊外の街灯が少ない暗い道路では、原則として上向きで点灯します。下向きでの点灯では照射できる範囲が狭まり、急な飛び出しなどを発見できません。上向きライトは対向車や歩行者・自転車にとって眩しく迷惑ですので、対向車などが見えた場合は下向きに切り替えるようにして、原則として上向きのライト点灯で走行することを心がけましょう。



早めのライトオンとともに、暗い郊外道路では上向きライトで走行しましょう。